



日本道路生物多様性行動指針

基本理念

日本道路は自然に学び、自然を活かし、将来にわたって「道からはじまる街づくり」を推進する企業であり続けるため、生物多様性の価値と保全の大切さを理解し、次の世代がその恩恵にあずかることができるよう、ここに4つの行動指針を定め、持続可能な社会づくりに貢献します。

行動指針

事業活動を通じた行動

事業全体

1. 当社グループのすべての事業活動において、生物多様性に与える影響を最小限に抑えるため、環境マネジメントシステムを活用し、積極的に生物多様性の保全に努めるとともに評価と改善により、より一層自然環境との持続可能な共生を図ります。
- 建設事業において、自然環境に影響を及ぼす可能性がある大規模工事は、施工前に「現場環境チェックシート」に基づく評価を行い、自然環境に影響を及ぼす事象の発生件数0件を目指します。また自然環境への負荷を排除・低減する施工計画、施工方法を立案します。
- 製造・販売事業においては、「製販環境チェックシート」に基づく評価を行い、自然環境に影響を及ぼす事象の発生件数0件を目指します。また、立地周辺の自然環境への影響に対し、騒音の低減、油流出防止等の取り組みを実施します。
- 生物多様性に配慮し、その保全・回復にかかわる技術・製品の研究開発を推進します。

企業市民としての行動

コンプライアンス

2. 大気・土壌・水等の環境に関わる法令はもとより、生物多様性に関わる法令、地域との約束を順守します。

コミュニケーション

3. NGO・NPO、環境関連団体、地域社会とのコミュニケーションを図り、生物多様性の保全活動に積極的に協力します。

教育・啓発/情報開示

4. グループ役職員、協力会社を含めて、生物多様性への配慮を周知・徹底するとともに、積極的な社内外への情報発信を行います。

2020年12月制定
2021年 8月改訂